



みなみっ子

11月の生活目標：「元氣なあいさつをしよう」

NO. 16

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

「さわやかな あいさつ歌声 ひびきます」

修学旅行先でも、6年生が・・・

早いもので今学期も、あと1か月あまりとなりました。今学期は、多くの行事がありましたが、運動会や陸上記録会などの体育的な行事や各種展覧会や読書感想文コンクールへの出品等の、いろいろな行事を無事に終えることができています。来週は、マラソン大会が控えており、子どもたちは、朝マラソンの時間や体育の時間に一生懸命がんばって走っています。



先週は、6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習と、それぞれの学年最大の学校行事で、子どもたちの思い出に残る行事を無事に終えることができました。

これも、保護者のみなさんのご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。

幸いなことに現在、新型コロナウイルス感染症の落ち着いている状況です。この間に、友だちとかかわりながら学びを深めていく学習、学校でしかできない教育活動など、できる限りのことを行っていきたいと考えています。

各家庭では、引き続き、朝の検温や健康観察、マスクの着用へのご協力をよろしくお願いします。

修学旅行先で、6年生が・・・

修学旅行先で、6年生のあいさつについて多くの方から褒めてもらう場面がありましたので紹介します。

① 2日目の昼食場所で

修学旅行2日目の昼食は、「四国館」といううどん屋さんで、うどんを食べました。釜の中のうどんがなくなると、何度でもおかわりができたのですが、中には8杯おかわりする人もいました。帰りに店員さんに、「中村南小学校の子どもたちは、うどんもたくさん食べてくれてうれしかったが、それ以上に、『ありがとうございます』や『おいしかったです』、『さようなら』というあいさつをしてもらったのが、とてもうれしかったです。」という、うれしい言葉をいただきました。



②金刀比羅宮で

2日目の日程の最後は、こんぴらさんへの参拝でした。785段の階段を元気に上っている子どもたちにおくれて、私が最後尾から上っている時のことです。上から下りてきた女性の2人組が、「さっきすれ違った子どもたちのあいさつが、とても気持ちよかったね。どこの小学生かな？あんな気持ちのよいあいさつを聞くと元気がでるね。」と話しながら下りていました。階段を上がっていた小学生は、中村南小の子どもたちだけでしたので、その2人組の女性の話は、南小学校の子どもたちのことでした。



③2日目の宿泊先で

2日目の宿泊先の「つるや旅館」への入館式でのことです。旅館の代表の方が、あいさつの中で「久しぶりに元気な小学生のあいさつを聞くことができました。本当に、あいさつのいい学校ですね。」と言ってくださいました。旅館に着いた時に、旅館の方へ元気なあいさつができていたようです。

楽しさ・思い出いっぱいの修学旅行

☆6年生が修学旅行に行ってきました。

11月7日（日）～9日（火）の2泊3日で、6年生が愛媛・香川方面に修学旅行に行きました。

今年度の修学旅行は、当初は5月に広島方面に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、場所を四国内として11月に実施しました。新型コロナウイルス感染症が落ち着いている時期に、修学旅行に行くことができ、本当に良かったです。



6年生の保護者のみなさんには、旅行先や日程の変更、新型コロナウイルス感染症が心配される中での旅行の承諾、そして、子どもたちの健康管理と毎日の健康観察等、ご理解ご協力をいただきました。

学校としても、「小学校の修学旅行は、一生に一度しかない」そして、小学校最大の行事である修学旅行に、何としても6年生を行かせたいという思いで、準備をしてきました。

今回、修学旅行を無事に実施することができました。これも保護者のみなさんのご理解ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。簡単に3日間の修学旅行の様子をお伝えします。

【1日目】

修学旅行の出発式では、修学旅行の3つの大きな目的について、話しました。

- ①集団での行動を学ぶ場、学ぶ機会だということ
- ②学ぶ、体験する旅行だということ
- ③いつも一緒にいる家族、当たり前のように一緒にいる家族の存在について考えること

6年生が、出発式での校長の話を、これから始まる2泊3日の旅に期待を抱きながら、しっかりと聞いていた姿が印象的でした。

1日目の最初は、愛媛県西予市の米博物館での「109m廊下ぞうきんかけレース」にチャレンジです。日本一長い木造校舎の廊下を、2人でぞうきんがけのタイムトライアルを行いました。109mの長い廊下を、一生懸命ぞうきんがけをしている6年生の姿、それを応援する6年生の姿に感動しました。



昼食を済ませた後は、砥部焼陶芸館にて「砥部焼の絵付け体験」をしました。それぞれが、イラストや模様などを描き、世界で一枚のオリジナルの砥部焼の皿を作りました。



絵付けをした皿は、この後、釜で焼かれ12月の始めには、手元に届くようです。届いた皿を大切に使ってほしいと思います。

その後、リフトやロープウェイに乗って松山城へ登りました。ガイドさんに松山城の歴史や石垣などを説明してもらい全員で記念撮影をして、1日目を終えました。

【2日目】

2日目は、別子銅山の歴史を学べるマイントピア別子からスタートしました。心配していた天気も、小雨であり濡れることがなく、マイントピアを出る時には、雨が上がっていました。



マイントピア別子では、トロッコ列車に乗り、観光坑道に入り、別子銅山の歴史を学びました。その後は、多くの子どもたちが楽しみにしていた「砂金掘り体験」です。30分の制限時間内に、砂の中に隠れている砂金や銀、宝石を見つけていきました。ほとんどの子どもたちが、何らかのものを見つけることができ、中には、砂金や銀、何種類もの宝石を見つけた人もいて、楽しむことができました。

その後、昼食のうどんを食べ、四国水族館へ行きました。四方を海に囲まれた四国の豊かな水景を再現した四国水族館。子どもたちは、海だけでなく川などの生き物を通して、四国の豊かな自然を体感したのではないかと思います。帰りにはお土産ショップで、家族へのお土産、自分の買い物をして2日目の宿泊先である琴平町へ向かいました。

琴平町へ着くと旅館に荷物を置いて、参道入口から本宮まで785段の石段が連なる金刀比羅宮の参拝をしました。子どもたちは、途中の参拝者や店の方にも「こんにちは」と元気なあいさつをして、中には途中で休憩する児童もいましたが、疲れた顔を見せることなく本宮まで登り切りました。一方、校長を含めた引率の教員は……。ご想像におまかせします。



【3日目】

修学旅行最終日のスタートは、「中野うどん学校」での手打ちうどん作り体験です。まずは、うどんの生地を麺棒で伸ばして、約4mmの太さに切っていました。この麺はパックに入れて、お土産になりました。その後は、うどんの生地作りです。小麦粉に食塩水を入れながら、手早くまぜていきました。そうしてできた生地を、何回も手でこねて（本当は、足で踏むのですが、コロナ対策のため手でこねました）いきました。この生地は、各家庭に持ち帰って、食べたことだと思います。味は、いかがだったでしょうか。

その後、今回の修学旅行で最大の楽しみ「レオマワールド」に行きました。レオマワールドでは、子どもたちが、それぞれのグループに分かれて、笑顔でお気に入りのアトラクションを存分に楽しみ、あっという間の4時間でした。



☆修学旅行で、一番良かったことは……。

2泊3日の修学旅行を通して、明るい笑顔、優しさ、仲の良さ等、6年生の良いところを再発見することができました。特に一番良かったのでは、あいさつです。いろいろな場で、その場に合ったあいさつや言動が見受けられ、中村南小学校の6年生の良さを、再確認することができました。

これからの6年生の活躍に大きな期待がもてる3日間でした。